

会員どうしてつながりたい！

瓦版

# げんき

第1号（特別号）

令和2年6月1日発行



サンメイト美術館より、  
広陵町 中本朋春さん  
刺しゅう「かわいい仲間たち」

## もくじ（ページ）

- 1 理事長より
- 2 県育成会より奈良県へ要望  
全育連より国へ要望  
「みんなの笑顔を増やすプロジェクト」開始のお知らせ

## 特集「コロナウイルスとむきあう

～おかあさんたちの奮闘日記～

- 3 奈良市 N・Kさん  
大和郡山市 M・Fさん
- 4 香芝市 T・Sさん  
葛城市 Y・Yさん
- 5 葛城市 T・Yさん  
桜井市 K・Uさん
- 6 奈良市 H・Kさん
- 7 大和郡山市 M・Kさん  
T・Kさん

台所洗剤でマスクの除菌ができます

- 8 今後予定 編集メンバーより 編集後記  
「みんなの笑顔を増やすプロジェクト」  
募集要領チラシ

## 発行

一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会

〒634-0061

奈良県橿原市大久保町 320-11

奈良県社会福祉総合センター 2F

☎ 0744-29-0150

Fax 0744-29-0151

HP <http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/>

メール [n-ikuseikai@blue.ocn.ne.jp](mailto:n-ikuseikai@blue.ocn.ne.jp)

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言」を受けて私たちは！！

理事長 阪口 貴子

初めに 4月7日に「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言」が7都府県に発令され、その後、4月17日から全国に拡大されました。5月14日には39県で緊急事態宣言が解除され、21日には、関西圏(大阪・京都・兵庫)が解除、25日には東京など5都府県も解除となり、50日ぶりに全面解除となりました。しかし、すぐにこれまでの日常が戻ってくるわけではありません。安全宣言ではありません。あたらしい生活様式が前提となります。

段階的に経済活動が再開し、コロナ出口戦略への動き、皆さんの心のざわめきや不安は少しは軽減されましたか？ 新型コロナウイルスは未知のウイルスであり、感染拡大の第2波・第3波が予想されます。この闘いは長いマラソンとも言われています。私は、治療薬の確保、ワクチンが開発され、身近な病院で接種が可能にならない限り安心はできません。肥満の息子をもつ母としては感染対策に気を抜けませんね！！

さて、会員の皆さんは緊急事態宣言の時はどのように過ごされたでしょうか？ 不要不急の外出禁止・S T A Yホーム期間の子どもさんの様子はどうでしたか？ 県育成会の事務局にも怒号に近い不安の電話がありました。わが子が感染したらどうなるのか？ 誰が見てくれるのか？ 親として当然の思いです。

そんな中、奈良県知事 荒井正吾様宛に「新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急要望書」を奈良県育成会として4月20日に、奈良県障害者福祉連合協議会としては4月27日に提出しました。この日は障害福祉課と短時間ですが懇談ができました。内容は「消毒用アルコールの依頼」「感染者が出た場合の防護服の確保」「B型事業所の工賃問題」「PCR検査の優先のお願い」等です。県からは出来る限り感染対策をとっていきたくと返答をいただきました。今後も関係団体等と情報共有をしながら要望してまいります。

奈良県下で感染症対策をとりつつ継続して関わっていただいている事業所の皆さんのご尽力に感謝いたします。また、特別支援学校の休業時にも、登校を受け入れていただきました先生方ありがとうございました。

今後の展望として、5月7日に治療薬としてレムデシビルが承認されました。また、遠紫外線C波の活用により新型コロナウイルスを不活性化する報道もあります。多方面にわたる研究者の発信と実践に期待したいものです。人と人とのつながり、オンライン化などの新しいつながり方を育成会も模索しながら考えていく時期が来ているのではないのでしょうか？ 皆様と共に考えていきたいです。

最後になりますが、これからもコロナ対策の実践が求められます。人と人との距離をとること（ソーシャルディスタンス・社会的距離）、外出時のマスクの着用、自宅での咳エチケット、石鹸による手洗い、手指消毒。「三つの密（密閉・密集・密接）」の回避等の対応策をとりましょう。そして、免疫力アップに心がけましょう。ゆったりとした入浴 笑うこと、笑う門には免疫力アップともいわれています。

## 奈良県知事 荒井正吾様に「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望書」を提出しました！

4月20日 奈良県育成会として、4月27日 奈良県障害者福祉連合協議会として県庁に出向き、障害福祉課との短時間の懇談ができました。内容は「消毒用アルコールの依頼」「感染者が出た場合の防護服の確保」「B型事業所の工賃問題」「PCR検査の優先のお願い」等です。県からは、出来る限り感染対策をとっていきたく返答をいただきました。今後も関係団体等と情報共有しながら進めていきます。

## 全国手をつなぐ育成会連合会より、国へ要望を提出しました！

5月8日に全育連より「新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急要望」が提出されました。内容に応じて細かく提出しています。（詳しくは奈良県育成会のホームページをご覧ください）

### 厚生労働大臣 加藤勝信様（障害福祉課）

- 1 自宅待機が続くことによる疲弊状況への家族支援（孤立化防止）
- 2 特別定額給付金の確実な申請と支給
- 3 在宅での支援が困難な場合の対応
- 4 わかりやすい情報提供
- 5 本人の入院、家族の入院などの際の支援体制
- 6 障害者差別や事業所に対する風評被害の阻止
- 7 感染発生後の機能維持



### 文部科学大臣 萩生田光一様



- 1 学校休業中における好事例の水平展開
- 2 特別支援学校高等部3年生への確実な卒業進路指導
- 3 オンライン学習環境を生かした在宅生活支援

### 厚生労働大臣 加藤勝信様（雇用対策課）

- 1 新型コロナを受けた障害者雇用対策について



### 総務大臣 高市早苗様

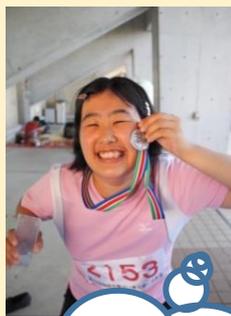
- 1 （特別定額給付金）申請期間の特例設定
- 2 わかりやすい情報提供の徹底
- 3 虐待による施設入所などの状態にある障害者への対応

（一社）全国手をつなぐ育成会 連合会

## みんなの笑顔を増やすプロジェクト

（新型コロナでもつながろう！）開始のお知らせ

日付：令和2年（2020年）5月25日（月）



こんな笑顔  
まっています！

全育連では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い外出や集合型イベント等が自粛されがちな状況を踏まえ、自宅にいても全国の仲間と「つながり」を感じられるようなコンテンツをユーチューブ、ホームページ、フェイスブックなどで発信する「みんなの笑顔を増やすプロジェクト(新型コロナでもつながろう！)」

をスタートすることとなりました。募集要領は刊末にあります、ぜひふるってご応募ください！

## 特集 「コロナウイルスとむきあう～おかあさんたちの奮闘日記～」



### 新型コロナウイルス感染症とわが家

奈良市 N・Kさん

40歳の娘は週3回透析治療のためクリニックに通っています。新型コロナウイルス感染症では、ハイリスクと位置づけられています。

今年初め、中国で未知の感染症が発生しているという報道があり、注目していました。当初、動物由来で、濃厚接触者以外の感染はないと言われていましたが、そのうちに、武漢からの帰国者、屋形船乗船者、クルーズ船など、人から人への感染が確実になり、また、高齢者や高血圧、透析、肺疾患など基礎疾患がある場合、重症化する、症状が現れていなくても感染源となり得るなど、かなり恐ろしくて厄介な病気だということがわかってきて、不安がつってきました。

奈良県では、1月下旬にバス運転手の感染が確認され、いち早く県から各方面に注意喚起がなされました。1月末の育成会研修会でもそのことが伝えられました。娘がかお世話になっているクリニックでも、1月末には全員にマスクの着用が求められました。娘は今までマスクの着用をいやがっていましたが、12月に奈良市親の会の青年学級の行事でミートローフとフルーツケーキを作った時、みんながマスクをつけているので、頑張って料理をしましたが、その経験で、クリニックでも、時々ずらすことはあるようですが、行き帰りを含め、マスクを頑張ってつけています。またその時購入したマスクがその後も役立っています。

国内でも感染が広がり、全国の学校に休校要請が出された3月はじめには、朝、発熱や風邪の症状があるなどの場合、まずクリニックに連絡して、時間変更などの指示を受けること、およびその連絡体制が示されました。コロナ感染防止と、日々欠かせない透析治療をどのようにするかという体制を早め早めに築いていただいております。安心してお任せしています。

わが家には98歳の母がおり、私自身もまもなく後期高齢者となるなど立派なハイリスク集団であり、玄関に消毒液ボトルを置き、手洗いの励行、外出にはマスクをつけるなど、まだ時々忘れ完全には身につけていませんが、コロナ対応生活を意識するようにしています。



大和郡山市 M・Fさん

新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴い、子供の通っている事業所が活動自粛になり、4/22～5/6までの2週間自宅での生活となりました。日中・夜間・休日とサービスを利用していたので、休みの間どうのりこえようかと最初は不安が走りました。本人が重度のため、三食のごはん作り、トイレ、お風呂と日常生活の行動に少し疲れましたが、思っていたより時間に縛られることなく親子で向き合える時間が持てて良い経験となりました。でも本人は一度も外出することもなく、生活リズムは乱れました。毎日、事業所のスタッフより、体調確認や本人の様子などについての電話があり、「困ったときは支援しますよ」との声掛けがありました。

また、利用者の方でどうしても自粛が無理な人については事業所で支えていただきました。その後1週間は2つのグループに分けての分散通所となり、5/18より通常開所にもどりました。次の感染拡大が起こったとき、本人・保護者の入院等が発生した時の事を考えると不安がつきません。この経験を次につなげたいと思いました。



香芝市 T・Sさん

猛威を振るっていた新型コロナウイルスによる感染拡大は、自粛制限解除のきざしが見えてきました。多方面に感謝しながら引き続き警戒しようと思っています。

3月に学校生活を終えた息子は、昨年度の終わりの政府から出された突然の「休校」決定に激しく混乱しました。その最大の理由は「わからないから」です。

息子に初めて急激な変更が伝わったのは10日後に卒業式を控えていた2月28日のことでした。学年での「鍋パーティー」、クラスでの「外食」、他学年による「送る会」など卒業まで数多く計画されていた予定が見事になくなりました。次に登校するのは卒業式本番。自閉症という障害は変化に弱い特性を持ち合わせています。案の定、大混乱は始まりました。些細な言葉がけで不安定になり自らの腕を噛む自傷。私に対する激しい攻撃（他傷）。運転中に助手席から攻撃された時は本当に事故しそうになりました。一体どう対応すればいいのか、時に暴れ狂う息子を見て置き去りにしようかと私自身、身も心も疲れ切った日も。そんななか、幸いにも学校が親身に日々の対応のことや進路先での過ごし方なども考えてくださいました。そして例年とはまた違った形でしたが、思い出深い卒業式が無事行われました。不安な毎日でしたが感謝しきれない思いです。

さて、今までとは違う「日常」をどのように過ごすのが良いのか。特に通所が終わった後の時間帯や土日は工夫の日々です。いろいろ試しましたが、現在、平日は香芝市役所の親水池公園の外周を走ったり歩いたり一人でさせて、そのあと、下田駅ロータリーで近鉄大阪線を通る素敵な特急などを見て大好きな踏切バーの揺れを楽しみながら歌っています。



休みの日はもっぱらドライブ。今のところは県南部へ行くことが多いです。毎週、いや土日とも同じようなコース、同じ方面へ行っていますが、本人は楽しいようです。

定刻通りに通過する電車、いつもと変わらない道路の信号。本人なりに「日常」を見出すことで安心材料にしているようです。

可視化できない「ウイルス」。見えないことに目を向けるのは私たち保護者や支援者がすればいいのではないかと私は思います。そして本人には今「見えている」情報、つまり決まっていることを伝えるようにしています。さらに親である私が倒れるもんか！と日々、感染対策に精を出しています。なぜなら感染したときに息子を隔離や入院しての治療受けさせることがどのくらい大変か想像に難くないからです。それともう一つ。万一に備え、息子に関する情報を一つに書き記しました。十分とは言えませんが、できることは即実行！したいと思っています。



### 緊急事態宣言を受けて

葛城市 Y・Yさん

緊急事態宣言から一ヵ月ほど経ちますが、その間、子供が通っている「ジョイアスクールつなぎ」の4回生（就労移行のため）は自宅学習になり、平日は一人でステイホームを続けています。食べて寝るだけの不規則な生活と一人ステイホームでいる時間が長いと体重は増え、そのため運動不足解消に室内でできる運動をさせても長続きせず、又、少しの事にも突っかかってきたりと感情の起伏が大きく、心身ともに不健康な状態になっています。そのため、あまり刺激しないように接しています。この状態も限界に近いと思います。

コロナウイルス発生前の状態に戻ることを望んでいますが、少なくとも子どもが通っている「ジョイアスクールつなぎ」が再開されれば改善されると思います。拡散防止のために我慢を続けることは可能ですが、子どもにとっては今まで経験したことのない大変な状態です。本当に頑張ってステイホームしてくれていることに子供の成長を実感しています。

## 緊急事態宣言を受けて

葛城市 T・Y さん



ぼくは、4月17日金曜日まで奈良市のジョイアスクールつなぎに通ってました。19日日曜日の夕方に所長から電話がありました。奈良県も緊急事態宣言が出てるので、4回生は明日から自宅学習してくださいといわれました。びっくりしました。お父さんとお母さんが働いているので、ぼくは一人ぼっちで家でテレビを見たりねてました。朝ごはんも昼ごはんも一人で食べるのはとてもさびしかったです。コロナウイルスになったらこわいので家からは出ていません。(コロナウイルスの流行以前は)土曜日、日曜日は、電車に乗ってスポーツジムに行ってプールで泳いだりスタジアムで運動してました。あとは、スーパー銭湯のぽかぽか温泉、橋本のゆの里に行っていました。スポーツジムもお休みしているので、行けません。とてもしんどいです。体を動かせていないので、ものすごくふりました。緊急事態宣言が出て外に出られないのはとてもしんどいです。ほんとにしんどいです。



## コロナウイルス感染症の拡大奮闘日記

桜井市 K・U さん

「Sちゃんテレビつけて」天気予報がみたくて息子に頼んだ2月27日の夕方。テレビからは安倍総理がコロナウイルス感染拡大防止のため、全国全ての小・中・高・特別支援学校について、3月2日から春休みまで、臨時休業を行うよう要請します。との会見が流れていました。「休校?特別支援学校も…」自分でも驚くほど、うろたえたのは、わが家が、特別支援学校高等部に通う息子を抱える、ひとり親世帯だからです。突然の休校、私の仕事は繁忙期で容易に休めません。休校期間の息子の居場所確保に奔走し、福祉サービスと家族の協力を得て目処がつかしました。

息子に3月2日からの予定を伝えた時のこと「学校休みやの?わかったよ」すんなり受け入れてくれホッとしたのも束の間、息子がプリントを差し出し私の顔をジーンとみて「学校あるで」と言うのです。息子が持っていたプリントは、2月の末に学校からもらった3月の献立表でした。息子の表情からは「お母さん学校休みて言うだけ間違ってるで!給食あるやんか!」と訴えているようでした。献立表はあるけど、怖い病気になったら困るから休みになったと説明し、「学校休み」と言うのですが、しばらくすると献立表を持ってきて同じことの繰り返し、献立表のやりとりは3日ほど続きました。後日、息子の部屋に献立表が貼ってあるのを見つけ、とても切なくなりました。大好きな学校に急に行けなくなり、ストレスが溜まらないよう、出来るだけ楽しく過ごそうと、1日ひとつ、息子の好きなことを予定してカレンダーを埋めました。息子の笑顔が先の見えない不安な毎日を明るくしてくれました。



4月に入り、コロナウイルスの感染は広がるばかり。予想はしていましたが、学校からは始業式のみ分散登校で行い、5月1日まで「在宅教育期間」とするメールがありました。その後、全国に緊急事態宣言が発令され「在宅教育期間」が5月31日まで延長されました。

感染拡大を防ぐための休校から春休みを含む3ヶ月間、ほぼ学校に通えずに自粛生活を送った子どもたちへの影響ははかり知れません。6月1日から分散登校、時間短縮ではありますが、学校が再開されることになりました。いつコロナ第2波が起こるか分からない状況ですが、子どもたちをコロナウイルス感染症から守り、充実した学校生活を送れるよう保護者の声を集め、県教育委員会へ届けたいと思います。



支援学校の子たちにも目を 開業医 和歌山県 68歳

「家はパニック状態です。部屋の中でドンドンと暴れまわり、学童保育でも自由に外で遊ばず、家と変わりません。私も疲れきっています」「一日中スマホを触り、ゲームばかり。起床と就寝時間には気をつけて昼夜逆転しないように注意しています」これは当方へ通院する、特別支援学校に通う子どもの母親の話である。前者は小学部、後者は高等部に在籍している。休校の報道は多いが、支援学校の子もたちの状況はあまりとりあげられていない。(中略) 学習や交流の場のみならず、心身の発達を支え、治療の一環としても重要な役割を果たす支援学校が休校する影響はさらに大きいと思われる。地域で支援学校の子もたちに接する一人として、この状況を乗り越えるために、より重層的な対策を教育・福祉関係の方々に切望したい」

(朝日新聞 5月21日 声より)

新型コロナウイルス、大変でしたね。まだ、続いていますけど・・・。

会員の皆さまのご家族、お友達は大丈夫でしたか？ 私たちの生活に大きな影響をもたらした新型コロナウイルスは私たちに多くの課題を提供してくれました。

奈良県人口130万人 発病者 91名。数の原理からいけば、他の疾患のほうが多いかも知れません。このような事態に関して政府批判、行政の力量差(地域格差)、など数多くのコメントが飛び交っています。3密 パンデミック クラスタ アベノマスク～アベノリスク。いろんな言葉が出てきましたね。

障害をもつ我が子たちからみたコロナ騒動を考えてみました。

コロナウイルスは、見えますか？ 映像ではよくお目にかかりますが、肉眼では見る事が出来ません。見えなもののへの恐怖。この状態を我が子たちにはどの様に伝わり、理解しているのでしょうか？

手洗いはハッピーバースデーを2回で、注意を言葉ではなく、絵文字を使って表現している等、小さな子どもさんにも理解できる表現。コロナ対策に関しては「インクルーシブな社会」と言える部分がありました。街全体が緊急事態宣言で環境が変わったことが、私たちの子どもたちにも、少しは理解できたのでは。

また、育成会活動の「在宅者ゼロ」運動のおかげで、成人期の方は社会参加を続けられる環境が整っていました。しかし、学齢期の子どもたちは毎日家で過ごす中で保護者からは「もう限界です」と言う声もありました。

このような、状況に陥った時育成会として何ができるのかを考えるきっかけにもなればと思います。

そして、一人10万円の給付金。我が子たちにも当然給付されます。生活介護の工賃では1年分のお給料かもしれません。

コロナ騒動は、急ぎ過ぎた社会の成長(グローバル資本主義)の負の効果かもしれません。もしかしたら、私たちの子どもには、緊急事態宣言時の様な、ゆっくり時が過ぎていく生活が合っているのかもしれない。日本中がこの様な生活環境になることが、合理的配慮された、住みよい社会かもしれません。あと少し、頑張りましょう。コロナ騒動だけで終わらない為にも。そして、今一度、私たちの子どもの生きやすい環境を、見つける良い機会かもしれません。



洗濯バサミにイチゴをつるして♪  
いちご狩り♪

大和郡山市 M・Kさん T・Kさん

いちご狩りごっこや、タブレットの ZOOM 機能を使って、国内外のお友だちとお話しました。

お父さんとダンス、バーベキューもしました。

2月末の休校から2週間くらいして自傷行為が

増えてきたので心配していました。そんな時に、担任の先生からライン電話があって

顔を見てお話をしたり、<sup>こころだま</sup>心魂プロジェクトの<sup>こころだま</sup>心魂TV に入って国内外のお友だちと話をしたり、<sup>こころだま</sup>心魂メンバーの歌を聴いたり、ダンスを練習したりと過ごしているうちに自傷行為は減りました。あと、規則正しい生活をする為に、

明日は、何をしようかの予定を一緒に立てたのも見通しがついて良かったのかもしれませんが。ただ、毎日だと、私が疲れてしまうので、週1、2のペースで「家でダラダラする日」を設けたのも親の負担が減るし、息子も一緒にダラダラして、これはこれで、息子にも「こんな日もあるさ」が体験できて良かったのかも～と今では思います。



<sup>こころだま</sup>心魂プロジェクトの<sup>こころだま</sup>心魂TV



ダンスもお父さんと楽しく♪

NPO 法人<sup>こころだま</sup>心魂プロジェクト：劇団四季・宝塚出身俳優が中心となっていく生のパフォーマンスを、難病と闘う子ども達とご家族へ届ける活動（デリパフォ）を中心に、日本全国・海外は台湾やミャンマーでも活動をされています。

## 台所洗剤でマスクの除菌ができます



台所用洗剤に入っている**界面活性剤**には**ウイルスの感染力をなくす効果あり!** (NHK「あさイチ」や国立感染症研究所感染症情報センターによる)

→直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム、または アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム を

**16%以上**含む洗剤に効果あり!

…例えば、「**除菌ジョイコンパクト JOY ダブル除菌**」

「**CHARMY Magica 除菌+ (プラス)**」「**ママレモン**」など



**洗い方** 準備するもの：台所洗剤・タッパーなど容器・計量スプーン (小)

①容器に**ぬるま湯 1 カップ**、**台所洗剤 2 ml (小さじ半分)**を入れて混ぜ、マスクを**浸す (5分)**。

②押し洗い (こすらない・もまない)

③水気を切って干す。

参考：YouTube HIBIKO ひびこさん

今後予定 6月5日(金) 一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会総会。  
奈良県社会福祉総合センターは6月1日より開館しましたが、引き続き感染対策を行ってください。委員会などで部屋を利用の場合は、定員の1/2の人数での利用となっています。(開館直後で混んでいます、予約必須です)

### 編集メンバーより



…自粛生活解除にはなりましたが、まだまだ油断できないですね。うちの家も親一人子一人の二人暮らしで、どちらかが感染したらどうなるのだろう？と不安は消えません。近くに頼れる親戚も無し、弟家族は遠い金沢だから何の助けにもならないでしょう。

自分たち親自身の高齢化・体調等が気掛かりの中、コロナ感染はどうしても避けなければならないと思います！まして障害を持っている人たちは内部疾患等重複障害の人も多く、リスクは何倍も高い、と心配です。作業所へは平常通り通っています、それは感染予防に取り組んでくださってるからと感謝です。

もし子供が感染し、入院となったら病院は対応してもらわないといけないけれど、家族も付けない状況と思うと深刻な問題ですね。



私の家族は五人。夫、息子、姑、小姑との暮らしです。今まで、よく他の人から、「あなたのところは家族たくさんだから、何かあっても息子さんをみんながみてくれるから安心だね！」と言われてきました。確かに、人手はたくさんあります。

しかし、このコロナとの闘いはそれとは関係なく、家族に襲いかかるものでした。96歳の姑をどう守るか、私達の感染は絶対許されません。息子の作業所にも迷惑をかけ、運営にまで影響します。

隔離できない二人をどう守ればいいのか。

親亡き後をずっと育成会で考えてきました。親あるうちにやるべきことを、と考えてきました。でも、このコロナはそれを待たず、突然やってくるんだ、という恐怖心で眠れぬ夜がつづきました。

そんな私の不安はよそに、毎朝、元気に作業所に通う息子の笑顔。作業所のスタッフの方々のご努力で作業所が開所してくださっていることに感謝です。

他県に在住の子供や孫に会いたいけど行き来が差し止めで行けない☹️通所施設が休みの為、自宅待機をしている方もおられます。自分の体調が悪くても「コロナかも」、と、ドキドキしてしまいます。

こんな時こそ、感謝や思いやりの心を大事にしたいですね。

自由のない中、耐えて暮らしています。広報委員会のみなどと、ラインで楽しい動画を見たりして、笑いあって、元気をもらっています。それにしても、はやくワクチンができるといいですね。



### 編集後記

ご意見や感想をお寄せ下さい。市町村の情報など、投稿歓迎します、会長さんを通じて投稿ください。(次号からは「マイウェイ」のコーナーでも原稿をお願いしていきます)

かわら版「げんき」は、ホームページにカラーで掲載しています。

他にも、全育連からの情報・サンメイト美術館などもご覧いただけます。

「一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会」で検索・

または右のQRコードから。

